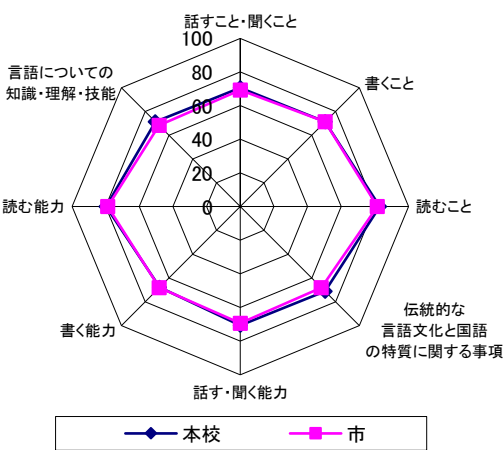


宇都宮市立横川中央小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	70.6	69.3	73.4
	書くこと	71.3	71.3	74.6
	読むこと	82.9	81.5	81.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	71.3	68.1	71.6
観点別	話す・聞く能力	70.6	69.3	73.4
	書く能力	67.8	68.1	71.7
	読む能力	79.8	78.8	79.0
	言語についての知識・理解・技能	71.5	68.4	72.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○校内正答率は、70.6%で、市の正答率を1.3ポイント上回った。	国語の授業を中心に、聞く人に伝わりやすくするための工夫と話の要点を聞き取るための観点を明確にして、繰り返し学習することで、更に力が向上するように支援する。各教科による発表や学級活動での話し合い活動も意識を高めて取り組めるように、掲示資料やワークシートを効果的に用いながら日々の学習に取り組む。
書くこと	○校内正答率は、71.3%で、市の正答率と同じであった。 ○漢字の読みに関しては94.4%で、市の正答率を3.6ポイント上回った。 ●意見文を書くという問題の正答率が58.4%で市の正答率を2.1ポイント下回った。	宿題で出している課題作文を継続する。また、作文活動では条件を出して書くように心掛け、字数や表現についての条件を満たして文章が書けるように意識を高めて取り組む機会を増やして、支援する。文章表現が得意な友達のよさにも気付かせ、今後の活動に生かせるように読み合い活動を設け、その都度、付箋紙で感想を伝え合い、書く活動を増やす。
読むこと	○校内正答率は、82.9%で市の正答率を1.4ポイント上回った。 ○物語の内容を読み取る問題の正答率は、86.9%で、市の正答率を0.4%上回った。 ○説明文の内容を読み取る問題の正答率は、77.5%で市の正答率を2.8ポイント上回った。	物語文では、文章から、登場人物の気持ちの移り変わりや、話の流れや要点を的確に把握することができるように学習活動を進め、端的にまとめることができる力を高められるように支援する。更に感想を伝え合うことで、十人十色の感じ方があることに気付かせ、共感したり、発見したりする活動を通して、自分の考えを深めていけるようにする。 説明文では、文章構成図に沿って要点をまとめ、筆者の思いや意図を考えていけるように授業を進める。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○校内正答率は、71.3%で、市の正答率を3.2ポイント上回った。 ●敬語に関する問題について、適切な尊敬語に直す問題の正答率が6.3%で市の正答率を9.5ポイント下回った。	6年間の総仕上げとして、ステップアップシートや校内の漢字オリンピックの9割達成を目指し、復習を中心に行う。音楽や社会、総合的な学習の授業との関連を図りながら、伝統文化の特徴、よさを考え、実践したり、鑑賞したりする機会を設け、知識を深めていけるように支援していく。 日頃からTPOに応じた言葉遣いを朝の会や帰りの会などでも取り上げて、敬語を話す意識を高める。また、適切な敬語に変えて話す活動を適宜取り入れて支援していく。